

新たな認定看護師が誕生しました!

新たな3人の認定看護師から、メッセージをいただきました。



この度、感染管理認定看護師となりました山本と申します。当院は、高度急性期医療を担う自治体病院であり、また道内唯一の第一種感染症指定医療機関であることから、感染リスクの高い感染症患者や易感染性患者に対する高度な感染対策を実践する責務があります。感染管理認定看護師は、患者・家族や病院で勤務する全職員に対して感染対策の実践・指導・相談を行います。また地域の医療施設の職員が参加可能なICTセミナーを開催し、標準予防策やノロウイルス・インフルエンザなどの感染対策に関する講義や演習も行っています。

これから知識と経験を積んで、患者及び全職員、家族や面会者を病院感染から防御し、安全で質の高い医療の提供に貢献できるよう努めて参りたいと思います。地域の皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



感染管理認定看護師
山本 謙太郎



がん化学療法認定看護師
大西 亜沙美

現在日本人の2人に1人が、がん罹患する時代を迎え、がん化学療法は、治癒を目指す治療から症状緩和まで、あらゆるがんに対し幅広く行われている治療です。また、がん化学療法薬は一般薬と比べて効果および副作用の用量作用曲線が隣接しており、効果が期待できる量を投与すると必然的に副作用が生じます。

がん化学療法看護は、治療決定時の意思決定支援に始まり、治療前から治療後の心身のケア、終末期ケアまで多岐に渡ります。そのため、私はがん化学療法看護認定看護師として、患者さんが安心して苦痛が最小限に治療をうけられるよう確実な投与管理と副作用の予防や早期対処の実践およびスタッフへの指導を行っていきたく考えています。

がん化学療法を受ける患者さんの治療の場も入院から在宅へと移行しつつあり、病院内だけでなく、地域に根差した看護ができるよう邁進していきたく思いますので、よろしくお願いたします。

手術看護認定看護師は、手術を受ける全ての患者さんに対し術前、術中、術後を通して安全で安楽な看護を提供することを目標としています。中でも手術中の看護は神経・皮膚損傷予防、体温管理、麻酔介助、器械出しなど特殊性、専門性が高い分野です。患者さんが安心して手術が受けられるよう、日々スタッフと共に頑張っています。

現在は手術室における術中看護が中心ですが、術前、術後訪問を通して病棟や外来との連携を強化し、患者さんがより安楽に過ごすことができるよう積極的に活動していきたいと考えています。また、手術看護認定看護師は2013年10月現在で全国に264名、北海道地区には13名(札幌は3名)と人数的にはまだまだ少ない状況です。半年間共に学んだ同志が、全国各地で活躍していることに勇気づけられ、活力をもらっています。

今後は微力ではありますが、地域の手術看護の発展にも尽力できるよう頑張っていきたいと思っています。



手術看護認定看護師
山下 さおり

